パナマ経済（パナマ首都圏都市交通2号線建設計画）

５月３０日付当地パナマ・アメリカ紙は、パナマ首都圏都市交通2号線（メトロ２号線）建設計画について次の通り報じている。

１　メトロ２号線は、全て高架橋構造となるため、メトロ１号線の建設費用に近い18億8,000万ドル程度になると思われる。メトロ２号線建設予定地のパナマ市東部より市内中心部へは一日平均１２～１３万人が移動をしている。

２　アリアス・メトロ庁技術審議官によると、メトロ２号線建設計画は、環境影響調査を始める段階にあり、同調査は６ヶ月後に完了する予定である。また、土質調査および環境影響調査の実施に平行して、入札を行うことで時間を節約するため建設業者の入札参加者を早く絞りたいと考えである由である。

３　メトロ２号線の予定路線は、全長２１ｋｍかもう少し長くなる予定であり、長さの決定は、車庫および整備場の位置次第である。駅数は１６駅で、そのうちの５駅はメトロ・バスと、１駅は1号線のサン・ミゲリート駅と接続可能な駅となる。２号線には、３両編成２２本を運用する予定である。

４　よりよいサービスを目指して、停車駅区間の長い又は短い（当館注：急行及び各駅停車を表現するものと思われる）運行をおこなうかどうかの分析も行っている。理由は、路線の終点駅では多くの乗客が乗り込むため、途中の駅で乗客を乗せることができないと見られるからである。停車駅区間の短い運行はコレドール・スールとドミンゴ・ディアス通りが交差する駅（ＵＴＰ駅）から始まる予定である。これらの２つの運行方法によって、乗客が多い区間においては運行頻度を増やすことができ、当初必要と考えられていた車両数を７本減らすことが可能となる。この運行方法を実行するにあたり、駅のいくつかは乗換駅の役割を果たすことになるため、ホームの数は２～３箇所必要となる。

５　メトロ２号線がドミンゴ・ディアス通りの真上を通過するか、その通りの脇を通ることになるか、いくつかの場所では未だ評価をおこなっている最中である。また、メトロ１号線の利用者需要が高いため、現在の編成車両に１車両追加して４両編成とするか５両編成の列車を購入することで（輸送力が）強化される見込みである。

６　５月３０日（金）または６月２日（月）に、プロジェクト・マネージャー契約に関する受注者が決定される見込みである。（了）